

## 感話

3年輩 Y.Y

私には姉がいます。その姉のことをこの感話で書きたいと思います。

姉は今、明るくて優しいときは優しい、けれども短気で自分勝手なところがある人です。運動神経がよくて一緒に入っていたサッカーチームでとてもよく点をとっていました。ヴァイオリンの演奏も上手で他にもピアノやホルンなども演奏することができます。

そんな姉は幼い頃から言いたいことをはっきり言う性格で、小学生のときに、私がサッカーのチームメイトから悪口を言われ、私が言いたいことを言えずにいると姉が来てそのチームメイトをしかり、私に「言いたいことがあるのなら、はっきりしたほうがいい。」とどなったことがありました。

私は自分よりもサッカーやヴァイオリンが上手な姉がとてもうらやましく、姉に早く追いつきたいと思っていました。これは母から聞いた話なのですが、私が小さい頃、よく姉がやっていたことを私も真似したがっていたそうです。私はあまり覚えていないのですが、たぶん追いつきたいという思いからきた行動だと思います。

しかしそんな姉が十四歳のとき、急に学校に行かなくなりました。初めはすごく驚きました。突然のことだったし、まさか姉がこうなるとは思ってもいなかったからです。それと同時に姉にあこがれていた私はとてもショックを受けました。姉が家にいるようになり、だんだんと姉が家の中で好き勝手なことをするようになり、私はそんな姉がとて嫌いになりました。

そして姉が何を考えているのか、何を思っているのか、なぜそのような行動をとるのか、まったくわからなくなりました。そのせいかけんかをすることも多くなりました。もともとけんかはよくしていたけれど、その時は倍ぐらいに増えたと思います。その後、姉を避けるようになり、姉の機嫌が良いとき以外はあまり話さなくなりました。

そんな状態は姉が十六歳になるくらいまで続いたと思います。その頃になると少しずつ学校に行くようになり、私も姉と話せるようになりました。今は、学校に通い楽しそうに学校生活を送っています。私と姉で遊びに行くようにもなったし、その時に姉が私に何か買ってくれることもあります。一緒に家で飼っている犬の散歩も行くようになりました。性格も前向きにもどったし、自分の気持ちを少しはコントロールできていると思います。私が姉に何があったかはわかりませんが、少しでも立ち直ってくれたことがうれしく思います。

でも私は姉に対して何もしてあげられませんでした。何かしてあげるところか変わってしまった姉から逃げてしまいました。そもそも、姉のもともとの性格は今になって考えてみるとあまり変わっていませんでした。そこに、気付けなかったのは姉のことがわからなくなっていたからだと思います。わからなくなっていたのは私が姉の話の聞こえが原因です。もしちゃんと話を聞いていれば姉のことが理解できたかもしれないし、あれほどけんかをしてお互いが傷つくようなことはなかったと思います。

私は姉に何もしてあげられなかったけれど、姉は立ち直るために努力したと思います。けれどもまだ不安なところもあるので私はしっかり支えてあげようと思います。もし、また前のような状態になってしまったときは逃げずに、しっかり姉の話を聞いて少しでも理解してあげられるようにしたいです。